

議決事項

件名	提案理由	審議の状況	採決の次第
報告第18号 平成27年度垂水市境地区公民館主事の任命について	境地区公民館主事の任命について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。	特記事項なし	
議案第34号 垂水市教育委員会の事務の点検・評価について	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成しようとするものである。	特記事項なし	承認

平成27年度第5回教育委員会定例会出席者

日時及び場所	出席者	
<p>平成27年8月10日（月）</p> <p>午後2時00分</p> <p>↓</p> <p>午後3時23分</p> <p>協和小学校 1階 会議室</p>	<p>教育委員長 野村 繼 治</p> <p>教育委員 田原 正 人</p> <p>教育委員 中谷 いつみ</p> <p>教育委員 葛 迫 幸 平</p> <p>教 育 長 長 濱 重 光</p>	<p>教育総務課長 保久上 光昭</p> <p>学校教育課長 下江 嘉 誉</p> <p>社会教育課長 森 山 博 之</p>

会 議 要 旨

1 開 会

定刻、定足数に達しており、平成27年度第5回教育委員会定例会を開会した。

2 平成27年度第4回定例会及び第1回臨時会会議録の承認 承認

3 委員報告

4 議 事

報告第 18 号 平成 27 年度垂水市境地区公民館主事の任命について
議案第 34 号 垂水市教育委員会の事務の点検・評価について

5 その他

- ・土曜授業の取組みについて（予定）
- ・あつまれわんぱく！夏の勉強会の申込状況等について
- ・教職員の研修について
- ・瀬戸口藤吉翁のふるさと たるたるの夢みるコンサートについて

6 閉 会

3 報 告	委員報告
委員長	教育委員の報告に入る。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7月20日の錦江湾シーカヤック大会は、天候不順で中止となり残念であった。 ・ 7月25日の瀬戸口藤吉翁を偲ぶ演奏会は、「瀬戸口藤吉翁のふるさと たるたるの夢みるコンサート」にタイトルを変えて開催され、今年もさわやかな感動の時間を過ごせた。音楽は人の気持を大きくコントロールするもので、身体を中心から湧いてくる感動、喜びを感じた。日常忘れて別世界の幸福な時間に浸ることができ、改めて郷土の先人である藤吉翁の存在に感謝するとともに、自分も生を受けたこの垂水を誇りに思い、これからも大事にしていきたい。併せて、垂水小学校金管バンドとの合同演奏もあって、その素直で懸命な姿が印象的だった。また、「たるたる」の登場は、その存在だけで会場を沸かせ、今までとは違う雰囲気、盛り上がりを作ってくれた。素晴らしい演奏会であった。
田原委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7月23日、市小学校水泳記録会に参加した。垂水小学校、協和小学校の両校の活躍が突出し、小規模校の松ヶ崎小学校にも新記録を出す選手がいるなど、盛り上がりのある大会だった。新記録が5つ出たことで、今後の成長が楽しみだ。また、競技の合間で鹿屋体育大学水泳部の選手の模範演技があり、各泳法のポイントを押さえ、ゆっくりと泳ぎを見せてもらい、いい参考になったと思う。 ・ 7月25日、たるたるの夢みるコンサートに参加した。名称も変わり、市民が身近に感じられる、親しめるコンサートになったと感じた。皆がよく知っている曲が演奏され、メリハリのきいた司会も良かった。垂水小学校金管バンドや垂水吹奏楽団とのコラボも良く、「たるたる」の登場もあって新しい形となり、うれしく思った。ただ、自由な雰囲気を楽しめるのはいいが、演奏中の入退場などマナーの改善を図らねばならない。 ・ 水之上校区公民館活動で、子ども会育成会のミニバレー大会が夏休み最初の日曜日の7月26日に開かれた。夏休みの思い出づくりと地域で子どもたちを見守っていこうとの趣旨で続けられている。児童生徒数が減って3大字単位の小・中・高校生、保護者で編成された5チーム、計約70人の参加であったが、有意義な大会であった。子ども主体の唯一のスポーツ行事であり、今後も盛り上げていきたい。
中谷委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 息子の幼い頃の写真を見る機会があり、どれも発見の驚きとか、本をじっと見つめる目、一所懸命走っている姿、大空に向かって両手をかざしている姿、その時があっという間に過ぎてしまったことを感じて涙が出た。この子たちは、果たして大きくなるためにどれだけの人と出会ったのだろうか、どれだけの人に出会えたのだろうか、生まれた時の小さな掌の夢をいくつ掴んだんだろうかと幸せな時間を過ごすことだった。 ・ 夏休みに寺子屋を開いている。夏休みに入った翌日から、何も言わなくても朝午前7時30分頃から子どもたちが集まり、宿題をして一緒に遊ん

中谷委員

で、おやつを食べて帰っていく。子どもたちの集える場を提供して、子どもたちからは、嬉しいとか楽しいという気持ちをいっぱいいただいております、この活動が子どもの周りの大人たちにも影響が出てきていると感じている。

- ・ 7月31日～8月3日に、福島の子どもたちを親子ともども受け入れ、協和地区が会場となった。幼子から中学生までで、3～4歳の子は生まれてから外に出て思いっきり青空の下で思い切り走り回ったことがない環境にいる。その子どもたちに青空の下で思い切り走り回って、豊かな自然に気兼ねなしに遊んでもらった。水族館、大浜海岸、森の駅で、垂水、鹿屋の子どもと合流し、友だちになり遊んだ。保護者の協力の下、柘原小学校全児童13人の親子も交流を果たせた。福島の1人の母親が、「こんな遠く離れた鹿児島の方々が、自分たちのことを心配して私たちを受け入れてくださった、思ってくくださったということがとてもうれしい。」とおっしゃった。垂水の子が、人との出会い、関わりの中で生きていく力を育んでいくことを願って、もっともっと寄り添っていきたいと思っている。
- ・ 8月3～6日には、京都、大阪、滋賀から5人の高校生を我が家で受け入れた。息子が京都の高校に行っている関係で、鹿児島に行きたい、遊びたいということで5人来てくれた。それを良い機会と捉えて、柘原小学校の子どもたち、地域の皆さんに声掛けをして、30人ぐらいでバーベキュー、スイカ割りをしたり、昼間は船を2艘出してもらって釣りに行き、釣った魚を捌いて皆でいただいたりした。都会の子どもたちは、地元の特産に目を丸くして、美味しいと言って食べてくれた。こういったことをすることも、結局、自分一人ではできないので、地域の皆さんの力を借りてできてよかったととても感謝している。

葛迫委員

- ・ 7月23日の市小学校水泳記録会は怪我もなく無事に実施することで良かった。多くの大会新記録が出て、子どもたちの成長を感じた。特に、垂水小学校、協和小学校、松ヶ崎小学校の新記録を出した子どもたちの泳ぎは、非常にきれいというか基本に沿った泳ぎというか、見る人を圧倒するものがあつた。ゆっくりと泳いでいるようだがスピードが出ている。これからが楽しみだ。水難事故が非常に多くなるので、水泳のマナーであったり準備運動とかであったり、気をつけて夏休みを過ごして欲しい。
- ・ 7月25日のたるたるの夢みるコンサートは、今年の夏の厳しい暑さを吹き飛ばすようで、昨年、市民館で開催されたみやまキャラバンコンサートもそうであったが、夏のコンサートは熱気があって非常に盛り上がっていく、暑さを吹き飛ばそうとする行事である。佐世保音楽隊に垂水小学校金管バンドや垂水吹奏楽団が加わったコラボレーションもあり、非常に素晴らしいコンサートだった。

教育長

- ・ たるたるの夢みるコンサートは800人の来場者があり、昨年よりも50人多かった。垂水小学校金管バンド、垂水吹奏楽団と佐世保音楽隊とのコラボを初めて実現することができた。自衛隊の音楽隊は日本に6つしかなく、2曲ではあつたけれども、この超一流の方々と一緒に演奏できたと

教育長	<p>いうことに小学生が感動していた。一人ひとりが書いてくれた感謝の気持ちと御礼状ともども海上自衛隊佐世保音楽隊へ送ったところである。隊長さんが、「来年以降も、ぜひコラボしたい。」とおっしゃってくださったので、来年以降もできるのではと思う。ただし、今年は7月に開催した関係で、垂水中央中学校が県の大会と重複してしまい、残念ながらコラボできなかった。今後、これを課題として、来年以降は実現していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・垂水中央中学校の部活において8種目参加した県中学総合体育大会から九州中学校総合体育大会に進んだのは、剣道と女子ソフトテニスであったが、女子ソフトテニス個人戦に出場したペアが4位に入り、8月に山形で開催される全国大会へ出場することが決まった。5月以降2大会で優勝し期待をしていた野球部は、残念ながら県大会2回戦で敗退した。しかしながら、野球部の頑張りは夢を持たせてくれたと感謝している。 ・8月2日(日)に葛迫委員に実行委員長となっていて、先般の県美展大賞を獲られた、柗原出身の鶴田公人氏受賞記念パーティーが開催された。地元柗原の方々など、100人を超える出席がありアザレアで盛大に開催された。本市にこのような受賞者がいらっしゃる子どもたちにいい影響を及ぼしていくので、時間が許せば子どもたちへの絵画指導をお願いしたところである。
4 議 事	
	<p>報告第 18 号 平成 27 年度垂水市境地区公民館主事の任命について</p>
社会教育課長	境地区公民館主事の任命について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告。
教育長	プロフィール等が分かっておれば教えていただきたい。
社会教育課長	詳しいプロフィールとかはないが、漁協にも勤めておられたとのことで、その点で事務には精通されておられると伺っている。
教育長	聞くとところによると、前任が辞められてから後任については濱田館長が精力的に動かされたとのことで、短期間でいい方を探していただいたと感謝している。我々にとっては、館長はもちろん主事も重要な役職であるので、協力いただけるものと思う。
	<p>議案第 34 号 垂水市教育委員会の事務の点検・評価について</p>
教育総務課長 学校教育課長 社会教育課長	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成することについて説明。

田原委員	資料 10 ページの外部評価委員の意見の(1)の4つめに「他の学校行事」とあるが、例えばどういう行事のことか。文化祭や学習発表会などに時間が許せば参加して欲しいということか。
教育総務課長	外部評価委員がなかなかご存じでない水泳記録会とかも含むものと理解している。
中谷委員	15ページの社会教育課の関係で、3番目にさわやかあいさつ運動のことで、「職員をはじめ大人のあいさつが依然として改善されていないとの指摘がある」と書いてあるが、詳しく教えて欲しい。
社会教育課長	さわやかあいさつ運動協議会が設立されており、その中で子どもたちのあいさつに対してはお褒めの言葉をいただくが、我々職員がなかなかあいさつができていないという意見がある。子どもたちにさわやかあいさつ運動を推奨している職員としては、改めて新たな気持ちで取り組んでいく必要があるとの反省の基に記載させていただいた。
教育長	市職員の中であいさつができていないと市民から総務課あたりに苦情が寄せられることがあり、年に数回、課長会で市長や副市長から指導がある。それを受けて、私どもも教育委員会職員にも指導しているところである。
葛迫委員	資料 13 ページの学校教育課のⅡに記載してある学力検査の記述が、全国平均があったり県平均があったりして分かりにくい。県平均か全国平均のどちらかに統一してはどうか。
学校教育課長	小学校2年生以上に実施した学力検査は全国的に標準化されたものである。小学校5年生を対象とした県学力定着度調査は県が独自に実施するもので、これは県平均しか出ない。全国学力学習状況調査は小学校6年生を対象とした全国的な学力検査である。一般的に鹿児島県の場合は、全国平均の方が上という状況であり、それぞれについて比較したものがある。
委員長	今の説明のとおりであるが、やはり、えてして国平均が一番高く、県平均が続き、市は教科によって県平均上回ったり下回ったりという感じなのか。字数制限もあり、それも詳しくは書けないのだろうと思う。
学校教育課長	市平均は、県平均と比較すると上下している。小学校に関しては、全国平均を上回っている検査もあるということである。
教育長	外部評価委員会に2回同席させていただいたが、その中で印象に残ったこと、又、もっと取り組んで欲しいということの中で、教育委員の間でも毎年議論されます「市長との話を充実すべきだ」という意見があった。このことに関しては、今年から総合教育会議が設置され5月11日に開催されたので、今後評価は上がっていくと感じている。 それから、「いじめ」の関係では、岩手県で不幸な事件が起こったことを踏まえ、心の教育、いじめに対する対応をもっと充実していかなければい

教育長	けないということを強く感じた。
委員長	異議がないようなので、議案第 34 号は承認された。
5 その他	
学校教育課長	1 土曜授業の取組みについて（予定） 平成 27 年 10 月から実施する土曜授業の取組みの内容及び予定を説明。
学校教育課長	2 あつまれわんぱく！夏の勉強会の申込状況等について 平成 27 年度の「あつまれわんぱく！夏の勉強会」の申込状況等について説明。
学校教育課長	3 教職員の研修について 平成 27 年度の夏季休業中の教職員研修の実施状況及び計画について説明。
社会教育課長	4 瀬戸口藤吉翁のふるさと たるたるの夢みるコンサートについて 平成 27 年度に名称も変え、装いも新たに開催した「瀬戸口藤吉翁のふるさと たるたるの夢みるコンサート」について説明及び報告。
6 閉 会	